

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 29 日

評価対象事業	評価者	職員課担当課長	能條 裕子
総務-10 職員研修事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	職員課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針
		行財政運営	

1 事業の目的

対象	市職員
意図	新しい時代の創造に向け、チャレンジ精神あふれる職員を育成するため。
効果	社会情勢と市民ニーズに迅速かつ適確に対応できる職員が育成される。

2 平成27年度に実施した事業の概要

「職員研修制度ガイドブック(ホップ・ステップかまくら)」に沿って研修を実施した。 「職員研修制度ガイドブック(ホップ・ステップかまくら)」に沿って研修実施のための出張旅費を支出した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考
人口等のデータ	人口	177,464人	人口	176,869人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	80,368世帯	世帯数	80,928世帯	
	事業の対象者数	1,362人	事業の対象者数	1,356人	
運営資源状況	決算値(千円)	7,932	当初予算(千円)	14,968	H28年度からコンプライアンス担当設置
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	43	その他	165	
	一般財源	7,889	一般財源	14,803	
	人員配置数	1.0	人員配置数	2.0	
事業経費運営	人件費(千円)	7,633	人件費(千円)	16,012	
	総事業費(千円)	15,565	総事業費(千円)	30,980	
	市民1人当りの経費(円)	88	市民1人当りの経費(円)	175	
	対象者1人当りの経費(円)	11,428	対象者1人当りの経費(円)	22,847	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-2. 受益者はいが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	鎌倉市職員として求める職員像に向けた人材育成を目指した研修の更なる充実が必要である。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	行財政運営を担う職員のレベル向上を図る取組は、常に必要であり、今後とも事業を充実させていく。また、平成28年度に新たにコンプライアンス担当を設置し、コンプライアンス推進に向けた仕組みづくりを行うとともに、全職員対象のコンプライアンス研修を実施する。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	市民から信頼され、社会情勢と市民ニーズに迅速かつ的確に対応できる職員を育成するため、今後とも、研修制度の充実を図っていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	これまでの職階に応じた研修を継続的に実施するとともに、その時々々の社会情勢に応じた研修が常に求められている。また、他課等で実施している各職員を対象としたプロジェクトとの連携等についても整理が必要である。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	接遇力及び情報セキュリティ意識を高めるための意識改革研修等を実施した。子育て、介護及びワークライフバランス等、働き方が多様化する職員の労務管理に柔軟に対応することを目的とした管理職研修を行った。また、関連課との連携において、研修の整理を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	不適切な事務処理を受けて、法令や社会規範を遵守し、市民から信頼される職員を育成するための研修の実施及び、組織としてコンプライアンスを推進していくための仕組みづくりが求められている。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	各種研修受講者	単位	人	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
研修の充実を図るため。	目標値	2,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0
	実績値	2,958.0	3,097.0				
	達成率	118.3%	88.5%				
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	職員一人ひとりの意識改革及び知識・資質の向上を図るため、今後とも研修事業を充実させていく。						

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---